

# 東京薬科大学新聞

発行所  
東京薬科大学新聞会  
責任者  
土本順子  
十月号

# 前期警告

## これでいいのが東薬生

猛暑だった夏も終わり、後期が始まりました。皆さんはすでにアドバイザから前期試験の結果を手渡された事であろう。

今年もかなりの前期警告者がでた。その人数は学年別・男女別にまとめたグラフを参照してもらいたい。

グラフを見て判るように男子の前期警告者がかなり多く、一・三年の男子はほぼ二人に一人が警告を受けている。

る事になる。女子の警告者数は多くはないが、かといって少ないわけでもない。唯一、二年生の女子だけが六・二五% (十三人) と一桁台であった。なぜここまで男女差が生じるのだろうか。男子の中には「女子はできる」というイメージを持っていて、人間的に頭がいい人でも勉強せずして怠るはずがないのだ。やれば誰でもできるようになるので

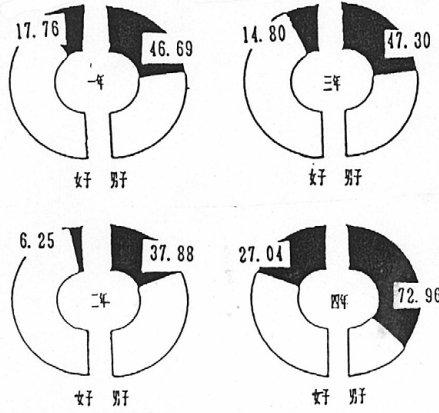
ある。まずは全学年が前期警告率一桁台を目指して頑張ってもらいたい。

また、今回の前期警告について、教務担当の山田康司教授にお話を伺ったところ「ただ毎年このように前期警告者を公表しても、自分の他にも多くの前期警告者がいる事を知って、安心感を持つ人がいるのではないだろうか。また警告を受けていない人の中にも、普段は授業に出席をしないでテスト前にだけ出席をしたり、他人のノートをコピーしたりして授業の内容を理解してはいないまま単位をもらって喜んでいる人がいるが、この様な事ではダメである。確かに薬学部はほかの学部と比べてかなり濃い内容を四年間でやらなければならないのは大変である。だが、来年度から国家試験の内容も変わり、一年生で学ぶ基礎的な範囲からも多数出題されるようになるため、このような難しい国家試験に一度合格するためにも、再試を受ける事なく全科目通す気持ちでやって欲しい。特に一年生には基礎となるものをしっかり理解しておくてもらいたい」という事であった。

# 前期警告者

■ 前期警告者

□ 非前期警告者



やほり前期警告を受ける原因は山田教授のおっしゃるような事であろう。また前期警告を受取る割合が低いというのも勉強に対する意識が低いとは思われる。

また、教授は「別に遊ぶのはかまわないが、しっかりとけしめを付けてもらいたい。けしめの付いていない学生が多いのではないかと思われていた。友人に誘われたりしても、大学生であるのだから、その時の状況を考えて、テストが近い時にはきっぱりと断るようにならなければいけないのではないだろうか。

前期警告を受ける人は多いかといってそれで危機感を覚えている人は少ないのではないだろうか。前期警告を受けた人の大半が「まあ、なんとかならん」で済ませてはいないだろうか。しかしそれではいけないのである。将来薬剤師になるのだという事を自覚していただきたい。

# 人体の世界

今年九月十五日から十一月二十六日までの間、上野にある国立科学博物館の特別展示場では日本解剖学会百年記念として「人体の世界」をテーマにした展示が行われている。ここでは現代科学を駆使した「プラスチック」による「人体」(対象物から水分を取り除き代りに樹脂を流し込んだ標本)を目玉に、骨格、目や臓器の立体映像など人体や解剖学に関係したものが所狭しと並べられている。

特別展示場に入ると、そこには前述のプラスチックによる人間のスライズ標本や、夏目漱石の脳味噌のホルマリン漬けなど、

一シオン標本と説明が並べられている。私は解剖学や高校の生物の授業の記憶を掘り出しながら見て回ったが、まだまだ大きな感動はなかった。続く解剖学の歴史書などが並べられているフロアでも同じだった。

第二会場に移り、病室などを扱ったフロアに出た。しばらく見ていてうしろ、私はある種のショックを受けた。この展示は遊び心で見て良い物ではなく、真剣に見なければならなかったのではないかと。こう思ったとき私は薬学を学ぶ者の一人として心からの恥ずかしさを覚えた。これから見て行くところから、私自身の遊ば半分でこの展示を見たりはしないで欲しい。

休日なども込み合うのは平日に比べ無難だろう。また、入場締め切りは午後四時となっているので、注意が必要である。

|        | 志願者数 | 受験者数    | 合格者数   | 合格率 (%) |
|--------|------|---------|--------|---------|
| 薬学専攻   | ( )  | ( )     | ( )    | ( )     |
| (八年度)  | 86   | 81 (2)  | 55 (1) | 67.9    |
| (七年度)  | 90   | 89      | 55     | 61.1    |
| 医療薬学専攻 |      |         |        |         |
| (八年度)  | 34   | 30 (6)  | 20 (2) | 66.7    |
| (七年度)  | 33   | 29      | 20     | 60.6    |
| 合計     |      |         |        |         |
| (八年度)  | 120  | 111 (8) | 75 (3) | 67.6    |
| (七年度)  | 123  | 118     | 75     | 63.6    |

( ) 内は他大学の卒業生

## 院試結果

本学における平成八年度大学院修士課程の入試結果は左の表の通りである。

今年度の入試では昨年減少した薬学専攻の志願者が更に減少している。これは地道なイメージのある研究職が敬遠されたためであろう。

一方では、医療薬学専攻は例年通りの志願者数を保っている。先の見えない不況のため、臨床での薬学を学ぶことで、実際の就職の場面で有利だと思われたために志願者数が安定しているであろう。

大学院に進学された方々には心からお祝いを申し上げると共に、これから様々な改革が推し進められていくであろう薬学の世界において活躍を期待する。

# 薬味

★前略、お手紙拝見いたしました。因々しい人にお困りのように中心からお察してしましました。因々しい人にお困りのように中心からお察してしましました。

★因々しい人はお察してしましました。因々しい人にお困りのように中心からお察してしましました。

★因々しい人はお察してしましました。因々しい人にお困りのように中心からお察してしましました。

（甲）

# 教育棟内

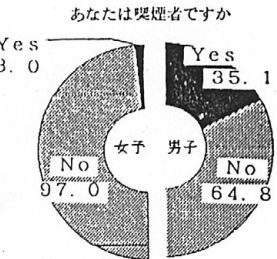
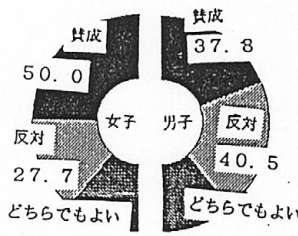
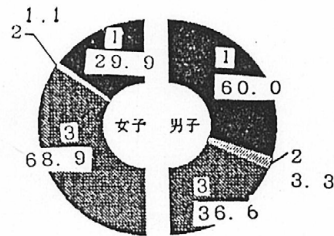
# 喫煙規制!

前号に掲載された教育棟内の喫煙規制が十月二日から実施されている。そこで先日、新聞会では一年生から三年生を対象に灰皿撤去などについてアンケート調査を行った。アンケート結果は左図の様になった。(なお、アンケートにおいて空気清浄機についての質問がありました。お詫びいたします)

喫煙者からのアンケート回収率は低かったものの、特筆すべき点として、非喫煙者の中に灰皿撤去を反対する割合が高かった事が挙げられる。反対する人達の中には、喫煙者は灰皿の有無に関わらず好きな場所で吸うという懸念を

すでに設置されている空気清浄機について

今後実施される予定の灰皿撤去について



## アンケート結果

- 必要だと思う
- 必要だとは思わない
- 設置されていることに気がつかなかった

保持人がいるようので一箇缶が灰皿代わりになる「投げ捨てが増える」一應下が灰だらけになる一などの意見が寄せられていた。また、アンケートの結果を見る限り、女子のほとんどは煙草を吸わず、男子も六割の人が喫煙者ではなかった。その為か、換気扇が設置されていることを多くの人が知らなかった。

このアンケート結果をもとに新聞会は、学生部長である宿前利郎教授に前号に続き再びお話を伺った。実施後の感想として教授は「灰が廊下に散らばること、ゴミ箱に吸い殻を捨てた結果としての火事など、考えられる事態には十分注意を払って一週間様子を

見たが、そういった事件は発生しなかった。思ったよりも学生の反応がきちんとしていた。教育棟内喫煙規制は成功をみたといえる」と語った。

しかし、煙草を吸える場所が限られてしまったため、どうしても一定の場所に人が集まり、うるさくなってしまおうというのが現状である。特に三号館と二号館の境のエレベーターホールの前では、授業中に騒ぐ人が多く、近くの講義室から苦情が寄せられたそうである。その事に関して宿前教授は「非喫煙者は喫煙者のモラルに対して、多かれ少なかれ不安を抱いている。喫煙者は、煙草を吸う権利を主張する前に、非喫煙者もいる社会の中で、マナーというものを考えるべき」とも語った。

また、談話室の禁煙という話もあったそうだが、それについては、換気扇の設置にともない暖房・クーラーの使用中止という問題が発生するため、今回は見送りとなった。今回の喫煙規制の実施により、喫煙所は下に挙げた七カ所だけとなった。ただし、喫煙所だからといって野放図に煙草を吸うのではなく、喫煙の際には換気扇を動作させる気配が必要である。なお、無断で灰皿を移動した場合は定位置にない灰皿として撤去されてしまうそうである。煙草の害に対する関心が強くなり始めた今日、東京薬科大学も例外ではないのだ。

・第一喫煙所：一一一講義室  
と一一二講義室の間

## 自然を

人は季節の変わり目とどうのようか。気温の変化、服装の変化、それと草木の変化からだろうか。

先日外を歩いていると、むせかえりそうなくらいの香りに包まれて思わず足を止め、辺りを見回した。頭上の金木犀が香りの主であった。その香りが好きかどうかは別にして、こういった季節の風物に触れるとき、人は季節の変わり目を実感するのではないだろうか。

高層ビルが珍しくなくなった。人工的な芝生、歩道を汚さない常緑の街路樹に囲まれ、街中を歩いて

## 満喫しよう

置かれているが、一度も行ったことのない人もいられるのではないだろうか。

講義や実習、クラブなどでせわしない日々を送っている。自然の小さな変化などはどうしても見逃しがちとなってしまふ。これだけの好条件に

がってん!!親方  
スウェーデンリレー  
(予選)

午後の部  
大玉送り  
恋人探し  
騎馬戦  
研究対抗リレー  
スウェーデンリレー  
チーム対抗リレー  
クイズ  
(決勝)

## 東薬祭

「がってん!!親方」とは去年の主宰レースに変わるもので、各参加団体の代表者(主将、部長、研究室の代表等)二人一組で行われる競技で、ネコ(建設現場で使用される手押しの一輪車)に一人が乗り、もう一人がそれを押してグラウンドを半周するようである。また、この競技はリレー形式であり、体育祭実行委員会編成する混合チームで行われるのである。

参加団体は研究室から同好会まで様々だが、当日は勉強のこともきれいさっぱり忘れて、大いに楽しんで頂きたい。

|              |
|--------------|
| 十月           |
| 十八日(水) 体育祭   |
| 十一月          |
| 一日(木) 東薬祭準備日 |
| 三日(祝)        |
| 五日(日) 東薬祭    |
| 六日(月) 創立記念日  |

※ 今月のことわざ ※  
「獅子は兎を倒さんとする時も、全力で我が子を干渉の谷へ突き落とす」  
語源：ちよびり不器用なライオン君がウサギを仕留めようとして、慌てて自分の息子を蹴り落とすちゃった、という故事に由来する。  
意味：あまり慌てずに、落ち着いて行動した方がよい。

編後記  
「本日、自主休講します。」  
(ひろゆき)

「一度と取材ものには関わらない!」  
(小学生)

「俺また、バスを逃してしまいました!」  
「多摩バスはこれだから!」  
(以下略)

「昇龍拳、昇龍陣、光龍拳、炎龍破、シャドウブレイド、鬼焼き、虎咆、龍牙、ジェノサイドカッター(タップ君) 協波動拳、龍払い、飛翔拳、烈風拳、ベノムストライク、カイザーウィップ、虎連拳、カイザーウィップ、(品本)

「あなたにはクンフが足りないわ!」  
「十年早いんだよ!」  
「ヤッハー!」  
(柚木サラ)

「おねえ今日、本当に印刷するの?」  
「早く誰か来て!」  
「あ、〇ちゃん登場!」  
「でも二人で印刷するの?」  
(ほの)

「今日は印刷日だ!」  
「雨は降るわ!」  
「バスはないわ!」  
「職員もやってきません!」  
「(甲)・食中毒には気を付けましょ!」  
(あんこ)